令和６年　９月１８日

関係者　各位

一般財団法人　建設工学研究振興会
理事長　李　　玉　友
（公印省略）

「建設工学研究奨励賞」授賞候補者の募集について（ご依頼）

拝啓
　時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
本財団の運営につきましては、平素から格別のご高配とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
　今年度における「建設工学研究奨励賞」授賞候補者の募集時期になりました。募集につきましては下記の「公益法人情報公開サイト」で周知しているところですが、募集期間は令和７年２月７日（金）までとなっていますのでお知らせいたします。
　なお、お忙しいところ誠に恐縮ですが、先生から若手研究者へ広く応募のお声かけをよろしくお願いいたします。

敬具

記

　公益法人情報公開サイト
　（https://www.disclo-koeki.org/05a/00762/index.html）

令和６年度　建設工学研究奨励賞応募要項

一般財団法人　建設工学研究振興会
理事長　　李　　玉　友

令和６年度の建設工学研究奨励賞応募要項は下記のとおりになっております。
同窓会の皆様にも奮って御応募いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

１．趣　　旨

建設工学研究奨励賞（以下「奨励賞」という。）は

「河上記念基金」(昭和 52 年河上房義東北大学名誉教授の退官記念会から寄託された基金)

「後藤記念基金」(昭和５７年後藤幸正東北大学名誉教授の退官記念会から寄託された基金)

「岩崎記念基金」(昭和 60 年岩崎敏夫東北大学名誉教授の退官記念会から寄託された基金)

によって運営されているもので、土木工学の分野における若い研究者、技術者の将来性ある活動を奨励することを目的とする。本財団法人はこの趣旨に基づき、下記の要項によって募集を行う。

２．奨励賞の対象

土木工学の分野における研究者、技術者の個人(応募締切年の４月１日において 38 歳未満)の行う研究や技術についての活動で、その内容が優秀で将来性のあるもの。

３．応募者の資格

大学土木工学科卒業者を原則とする。なお、そうでない場合でも理由書を付して応募することができる。

４．応募の方法

所定の応募用紙に記入し、本財団法人理事長あて令和７年２月７日（金）まで提出する。また、過去に本奨励賞を受賞されていない者は、上記年齢制限の範囲内で何回でも応募できる。

５．選　　考

奨励賞授賞者の選考は、本財団の建設工学研究奨励賞選考委員会において行う。

６．奨励賞の内容

１件について、２０万円ないし３０万円とする。

採択は原則として４件以内とする。

７．奨励賞の授与

令和７年６月開催の評議員会後に行う。

８．成果の発表

奨励賞の助成によって得られた成果は、本財団法人の発行する年報に奨励賞授賞後２年以内に発表しなければならない。また、土木学会全国大会等で奨励賞受賞後２年以内に発表しなければならない。なお、他に公表する場合は本奨励賞の補助を明記すること。

以　上

この項目に関する問い合わせ､あるいは応募用紙の請求は下記宛行ってください。

〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉６番６号
（青葉山会館内）
一般財団法人　建設工学研究振興会
電　話　　（022）227－4711
ＦＡＸ　　（022）227－4711
E-mail：aoba@zaici.civil.tohoku.ac.jp

建設工学研究奨励賞応募上の留意点

応募にあたっては　下記の点に御留意下さい。

１．研究奨励賞授与の趣旨は、要項に記載のような研究・技術の活動を奨励することにありますが、具体的には実験や資料収集のための費用、書籍費、旅費(外国出張を含む)、その他応募者の今後の活動に関連した費用の補助を行おうとするものです。
２．研究・技術の活動が官庁・会社などの組織として行われているものの一環である場合も多いと思われますが、この場合、応募者の立場について説明を加えて下さることを希望します。
３．本財団の年報に発表する成果としては、研究・技術の計画、経過の報告、または今後の進め方の構想などについて 800 字程度にまとめて下さい。必ずしもまとまった論文や報告として体裁の整ったものである必要はありません。
４．なお、不明の点、または応募申込用紙が不足の場合は、財団事務局あて御請求下さい。

一般財団法人　建 設 工 学 研 究 振 興 会
〒980－8579　仙台市青葉区荒巻字青葉６番６号
（青葉山会館内）
電　話　（022）227－4711
ＦＡＸ　（022）227－4711
E-mail：aoba@zaici.civil.tohoku.ac.jp